科目番号	１５０４	領域区分	看護実践開発学領域		
学年	配当セメスター		区分	単位数	授業時間数
１・２	後期		選択	２	３０
授業科目名 (英文)	看護実践開発特論Ⅳ【看護実践発信論】 (Clinical Nursing Practice Development Ⅳ : Transmission of Information in Nursing Practice)				
担当教員名	阿部　桃子／坂本　すが／今泉　一哉／渡會　睦子				

授業の概要及び到達目標

＜授業の概要＞
　情報とその発信についての本質的理解に基づき、看護に期待される情報発信の可能性を探究し、対外的な看護実践発信力の修得を行う。卓越した看護実践を積極的に外部に情報発信し、看護独自の新たな社会貢献のあり方を模索することを通して､これまでの看護における情報発信に関する問題点や課題について論じる。

＜到達目標＞
・看護専門職として社会に情報発信する必要性について説明できる。
・選択したテーマについて、効果的な情報発信の知識・スキルを用いてプレゼンテーションができる。
・収集したエビデンスに基づいて看護ケアに関するプレゼンテーションができる。

準　備　学　習　等

・3・4・7・8 回の授業では、プレゼンテーションの演習を行うため、その準備をして授業に臨んでください。詳細は履修予定者に後日提示します。(1 時間×4 コマ分)
・13～15 回の授業では、提示された課題に取り組んだうえで授業に臨んでください。課題は初回講義時に提示します。(1 時間×3 コマ分)

成績評価の方法	プレゼンテーション（30%)、ディスカッションへの参加状況（30%)、 課題レポート（40%）によって評価する。
テキスト	指定しない。
参考図書	授業の中で紹介する。
備　　考	プレゼンテーションや課題への取り組み内容に対し、履修者とのディスカッションを通してフィードバックします。

授　業　計　画

第 1・2 回　看護における情報発信の必要性と現状（阿部 桃子）

第 3・4 回　効果的に情報発信するための知識とスキル：ターゲットの焦点化・媒体の選択・提示方法（今泉 一哉）

第 5・6 回　地域住民に対する看護実践に関する情報発信の実際（渡會 睦子）

第 7・8 回　社会への効果的な情報発信に活用可能なテクノロジー（今泉 一哉）

第 9・10 回　企業による医療保健に関する情報発信の実際（非常勤講師／阿部 桃子）

第 11・12 回　専門職集団としての社会への情報発信に関する取り組みと課題（坂本 すが）

第 13・14・15 回　エビデンスに基づく情報発信の実践と課題（阿部 桃子）